

2024年7月31日

各 位

SBIホールディングス株式会社

タイでトラック輸送に関するデジタルソリューションを提供する
APX Logistics Solutions 社への出資に関するお知らせ

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝、以下「当社」）は、当社グループが運営する SBI-NTU（エヌティーユー）・Kyobo（キョウボ） Digital Innovation Fund（所在地：シンガポール、以下「本ファンド」）を通じて、タイ全土にて BtoB でトラック貨物輸送を提供するフォワードで、タイ初のデジタル LTL（※1）ネットワークをタイ全土に構築し、デジタルソリューションの提供を通じて貨物とトラックの最適なマッチングを実現する APX Logistics Solutions 社（本社：タイ、最高経営責任者兼創業者：Uwe Dettmann、以下「APX 社」）へ出資を行いましたので、お知らせいたします。

APX 社は、トラック運送会社と提携して構築した独自のハブ&スポークネットワークを活用して、タイ全土および周辺国をカバーする LTL 輸送サービスを提供しております。タイは高速道路の発展や大メコン圏におけるハブとしての位置づけにより、ASEAN の主要物流拠点としての役割を果たしています。しかし、タイでの陸路輸送はデジタル化が進んでおらず FTL（※2）輸送が主流であるため、非効率でコストが高い傾向にあります。APX 社は、AI を搭載した貨物管理システム Palli を活用してトラックの積載量や配送を最適化することで持続可能な LTL 輸送を実現しており、これにより FTL 輸送と比較してより少量、高頻度、低コストでのサービス提供を可能にしています。さらに、Palli を通じてネットワーク全体における排出の影響を測定・追跡し、燃料消費量とカーボンフットプリントの削減を可能にするルート提案を積極的に行うことで、効率的で環境に配慮した物流の実現に貢献しています。今後は、2024 年のマレーシア、シンガポール、ヨーロッパへの事業拡大に続き、2025 年までに LTL ネットワークをベトナムに拡大する準備を進めており、ヨーロッパ、中国、東南アジアの貿易の流れをシームレスにつなぐことで流通の大幅な効率化を目指しております。

（※1）LTL=Less-than-Truckload の略。混載トラック輸送。トラック 1 台に満たない小口ロットの貨物輸送。

（※2）FTL=Full Truckload の略。フルトラック積載輸送。

◆SBI-NTU-Kyobo Digital Innovation Fund について

本ファンドは、2022 年シンガポールにて組成され、東南アジアと南アジアにて、デジタル技術およびデジタルプラットフォーム関連分野のアーリーステージ企業に投資いたします。また、本ファンドは当社グループが、シンガポールの南洋理工大学の産学連携を加速する子会社である NTUitive（本

社：シンガポール、代表取締役社長：David Toh)、韓国の教保（キョウボ）生命グループ傘下の証券会社である教保証券株式会社（本社：ソウル市、共同代表取締役社長：Bong-kwon Park、Seok-ki Lee）と共に設立し、各社が培ってきた事業運営に関する知見や、地域に根ざしたエコシステムを通じて、デジタル化された取引データを用いた収益化の支援など、投資先のデジタル・トランスフォーメーションへの取り組みを後押しする予定です。尚、本ファンドは当社の子会社である SBI Ven Capital Pte. Ltd.（本社：シンガポール、代表：宗 英一郎）が運用しております。

◆SBI グループについて

1999 年創業の SBI グループは、日本におけるインターネット金融サービスのパイオニアとして、証券、銀行、保険分野を中心にインターネットを通じてより低価格で利便性の高い商品やサービスを提供する金融サービス事業を運営しているほか、資産運用事業、投資事業、暗号資産事業、次世代事業をグローバルに展開するインターネット総合金融グループです。

投資事業においては、米国の Ripple 社や R3 社など世界的に有名な DLT 企業に投資実績を持つほか、2024 年 3 月末時点で 8,018 億円の投資残高を保有し、アジアの金融およびテクノロジー業界のベンチャー企業の成長と成功を支援してきた実績があります。子会社である SBI Ven Capital は、シンガポール金融当局（Monetary Authority of Singapore）より認可を受けた資産管理会社として、2007 年の設立以降、主に東南アジアや南アジアの企業への投資を実施し、2024 年 3 月末現在で 6.0 億米ドルの資産を運用しております。

◆南洋理工大学および NTUitive について

南洋理工大学は 1993 年創立のシンガポールの主要国立大学の一つで、2024 年版 QS アジア大学ランキングで第 4 位となっています。子会社である NTUitive は産学連携を加速するために設立され、自社イノベーションプログラムを通じて、先端技術に関する研究シーズを事業化することを強みとしています。

◆教保生命グループについて

教保生命グループは 1958 年創業の韓国有数の生命保険グループであり、傘下の教保証券は 2002 年より韓国取引所の KOSPI 市場に上場しています。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126